

# 身に付けたい学習規律

	指導事項	○必ずすること ※参考事項
学習の準備	(1) 忘れ物をしない習慣を付ける。	○連絡帳を丁寧に書く。 ○連絡帳を見て、前日に準備する。 ※低学年でも自分で準備する。保護者は見守る。
	(2) 授業の開始時刻までに学習の準備をしておく。	○次時の準備をしてから休む。 ○短い休み時間には体育室やグラウンド等へ遊びに行かない。
	(3) 授業の開始時刻前に着席する。	○時計を見て行動する。
	(4) 学習用具を整える。	○筆箱に入れるもの(削った鉛筆5本、消しゴム、ミニ定規、赤・青色鉛筆(ボールペン可)) ○必要以上のものは持ってこない。(学習用具で遊ばないようにする) ○下敷きを準備する。 ○鉛筆(2BまたはB、4年生以上はHBも可)で文字を書く。(シャープペンシル不可)
	(5) 授業の開始時・終了時にあいさつをしっかりと行う。	○はっきりとした声であいさつを言う。 (「お願いします。」「ありがとうございました。」)
	(6) よい姿勢で学習する。	○「足はペッタン」・「背中はピン」・「お腹と背中にグー1つ」
学習	(7) ノートを丁寧に書く。	○正しい鉛筆の持ち方で丁寧に書く。 ○ミニ定規(短いものさし)を使って線を引く。 ○必ず、下敷きを使う。 ○ページをとばさず、破り取らず、最後まで使う。 ○習った漢字を使う。
	(8) 発表の仕方・話の聞き方をきちんと身に付ける。 「めざせ はっぴょう名人」 ～学び合う話合いにしよう～	○人の話の途中で、発言や私語をしない。 ○名前を呼ばれたら「はい。」と返事をして立ち、意見を言う。 ○丁寧な言葉遣いで、語尾まではっきりと言う。(です。ます。) ○考えをまとめて、理由をつけてみんなに伝わるように話す。 (声の大きさ、伝え方、気持ちを込めて等) ○話を聞くときは、発表者に体を向けて聞く。 ○自分の考えと同じかちがうか比べながら聞く。
	(9) 発表する時のハンドサインを利用して話合いのマナーを身に付ける。	○ハンドサインを利用し、マナーを守って話し合う。 ・パー・・・意見                      ・グー・・・異なる意見 ・チョキ・・・付け足し                ・1本・・・質問 ※話合いのマナーは、人の意見を聞いて自分の考えを深めたり広めたりすることにつながる。
	(10) 全ての教科で、音読の量を増やす。	○問題文は意味を考えて読む。 ○国語では、場面の様子を考えながら、工夫して読む。 ※音読することは、内容を正しく把握したり記憶したりすることにつながる。
	(11) 進んで読書をする。	○図書室の本を借りて、進んで読書に取り組む。 ※親の読み聞かせ等も効果がある。
	(12) 毎日の宿題を通して、家庭学習の習慣を身に付ける。	○宿題を忘れずする。 ○宿題が終わったら、自主学習に取り組む。【自主学習のてびき】を参考にする。 ○家庭学習の時間の目安 【10分×学年(宿題+自主学習)+10分(読書)】